

1 梨の生育状況

果実肥大は、7月22日の無作為調査結果では、「幸水」の横径は60.3mm（前年：53.4mm、平年：63.9mm）で、前年、平年よりやや小さくなっています。

●記録的な高温・少雨のため、肥大がかなり悪くなっています。果実肥大の確保、日焼果・内部障害の発生を抑制するために、かん水を徹底してください！（7/5付「かん水の実施について」参照）

2 黒星病について

表1～4のとおり、いずれの品種も6月中旬に比べ増加傾向にあります。特に、新梢葉・葉柄での発病が増加していますので、薬剤防除を徹底するとともに、り病部位の除去の際には、新梢の高い位置に病斑がないか確認を徹底してください。

表1 「幸水」における年次別・月別の黒星病発病果そう率（％）

調査日	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5/13	1.3	2.7	34.8	13.6	2.4	0.3	0.8	7.4	3.1	5.9	—
6/12	4.0	2.1	22.9	34.4	2.6	0.4	2.8	19.7	5.9	6.7	45.8
7/15	7.5	3.5	13.6	8.8	2.1	0.8	0.4	14.9	7.7	10.8	28.1

表2 「豊水」における年次別・月別の黒星病発病果そう率（％）

調査日	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5/13	0.3	1.0	18.6	7.3	0.6	0.4	0.7	7.8	12.1	5.9	—
6/12	4.3	1.1	17.3	24.4	1.6	1.1	4.6	19.2	14.6	8.4	42.6
7/15	4.9	2.5	9.0	7.8	1.9	1.3	1.1	17.3	13.6	6.9	28.8

表3 「あきづき」における年次別・月別の黒星病発病果そう率（％）

調査日	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5/13	0.0	1.0	8.3	0.5	1.0	0.0	0.5	2.5	2.5	0.0	—
6/12	0.0	0.0	11.7	5.0	1.2	0.0	0.0	7.0	3.0	2.0	7.2
7/15	1.0	0.0	11.2	1.3	1.2	0.0	0.6	11.5	3.5	4.5	21.4

表4 「新高」における年次別・月別の黒星病発病果そう率（％）

調査日	R 7	R 6	R 5	R 4	R 3	R 2	R 元	H30	H29	H28	H27 (多発年)
5/13	0.0	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	1.4	1.1	0.4	—
6/12	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.7	4.0	0.1	1.6	31.3
7/15	0.5	0.0	2.8	0.8	0.0	0.0	2.0	4.4	2.0	2.6	24.0

3 除草剤の使用基準について

除草剤の使用に当たっては、下記の使用基準を遵守してください。

- （1）収穫前日まで使用可能：バスタ液剤（年3回以内）、プリグロックスL（年5回以内）
- （2）収穫7日前日まで使用可能：ラウンドアップマックスロード、サンフーロン液剤、
草枯らしMIC（グリホサートを含む農薬は合わせて年3回以内）

非農耕地用の除草剤を梨園地内や畦畔等には絶対に使用しないでください。

4 これからの防除について

これからの防除は、収穫期間近あるいは収穫期間中となるので農薬の使用時期(収穫前日数)に十分注意してください。周囲の収穫園にも気を配りましょう(「香麗」や「なつしずく」などの早生品種にも注意してください)。

なお、使用時期が「前日」のものは散布後24時間、「3日」のものは散布後72時間収穫できません。

回数	散布月日	薬剤名と希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	散布量	主な対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
	7月25日 ～8月5日頃	コンフューザーN	50本/10a		リンゴコカモンハマキ、 モモンカイガ、 ナシハシロイ	
ハマキムシ類の発生が多いので、必ず設置してください！						
18	8月1～3日	オーソサイド水和剤 80 1,000倍 (収穫 72 時間前まで) アグロスリン水和剤 2,000倍	3日 前日	300 リットル	黒星病 、輪紋病 シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類	
特散	8月6～10日 <u>防除前に草刈り</u> を！	マイトコーネフロアブル 1,500倍 (収穫 24 時間前まで)	前日	<u>400</u> リットル	ハダニ類	
●殺ダニ剤の効果を十分発揮させるため、散布前には必ず草刈りを実施しましょう。 ●ハダニ類の発生が早い場合は、記載の散布日を待たず速やかに散布してください。 また、マイトコーネフロアブル散布後にハダニ類が再発生した場合は、ダニオーテフロアブル(2,000 倍、収穫 24 時間前まで)を単剤で散布してください。						
19	9月上旬頃 「幸水」 収穫終了後	ナリア WDG 2,000倍 (収穫 24 時間前まで) <u>ダントツ水溶剤(追加)</u> 4,000倍 (収穫 24 時間前まで)	前日 前日	300 リットル	黒星病 <u>カメムシ類、コナカイガラムシ類、シンクイムシ類</u>	
●<u>カイガラムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類対策を強化するため、ダントツ水溶剤(4,000 倍、収穫 24 時間前まで)を追加で混用してください(全品種対象)。</u> ●防除日の詳細は、「幸水」の収穫状況を見極めて決定し、8月下旬頃にお知らせします。						
20	10月上旬頃 「あきづき」 収穫終了後	オーソサイド水和剤 80 1,000倍 (収穫 72 時間前まで)	3日	300 リットル	黒星病	
●オーソサイド水和剤 80 は、全品種が防除対象となります。 ●防除日は、9月下旬頃にお知らせします。						

※散布に当たっては、希釈倍数や対象病害虫など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。

※こまめに水分を補給するなど、熱中症に留意してください。

※周囲の農作物や住宅等への農薬の飛散に十分注意して散布してください。特に、通学路に面した園地では、登下校時の時間帯を考慮して散布してください。また、防除開始時間は、午前5時以降としてください。

カメムシ類の吸汁被害果が多い場合は、速やかに富山農林振興センター・濱谷(090-3762-5149)または各地区の防除担当者へご連絡ください。